

令和3年3月31日

陸前高田市議会議長 福田利喜 様

会派名 日本共産党陸前高田市議団  
代表者職氏名 団長 藤倉泰治



政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、令和2年度政務活動の状況について報告いたします。

記

1 調査研究事業

(1) 岩手県沿岸振興局：杣副局長への要望と懇談

内容 新型コロナウイルス感染症対策について要望と懇談を行った。

日時 令和2年5月13日(水) 午後3時30分～午後4時

場所 大船渡地区合同庁舎

出席者 (県) 杣亨副局長(岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部気仙支部長) / 小野泰司所長(健康福祉部) / 米澤勉所長(経営企画部)  
(日本共産党) 藤倉泰治、滝田松男大船渡市議会議員、山本和義大船渡市議会議員

要望と懇談内容 新型コロナウイルス感染症に対する保健センターの保健業務の状況及び職員体制、発熱外来に係る気仙医師会との協議とPCR検査センター設置の見通し等

(2) 新型コロナウイルス感染症による漁業への影響調査

内容 大都市圏の新型コロナウイルス感染症拡大による市内の漁業等への影響調査を行った。

日時 令和2年5月15日(金) 午前10時～午後0時

場所 小友町内、広田町内

調査内容 小友、広田町の漁船漁業者や養殖漁業者を訪問し、全国的な新型コロナウイルス感染拡大による飲食業等への影響・被害の状況を調査した。

参加者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

(3) 日本共産党岩手県議団と陸前高田市議団の大震災被災地合同現地調査

内容 大震災10年を前に被災地・陸前高田市の復興の現状と課題、要望について懇談した。

日時 令和2年10月1日(木) 午前10時～午後0時

場所 市役所4号棟会議室及び市長室

懇談の内容

午前10時 地域振興部 地域産業の取り組み状況と担い手対策

午前10時30分 復興局、建設課 区画整理事業の現状と国県への要望事項

午前 11 時 福祉部 被災医療費免除の継続や高齢者の見守り事業

午前 11 時 30 分 戸羽市長 復興期間 10 年を前にした課題と国県への要望  
事項、被災世帯医療費免除継続の沿岸市町村の状況

午後 0 時終了

現地調査 アムウェイハウス・観光物産協会・新庁舎工事・道の駅・カモシー

出席者 (市) 戸羽市長、阿部勝地域振興部長、菅野誠復興局長、千葉恭一福祉部次長

(日本共産党) 斎藤信県議団長、高田一郎県議会議員、千田美津子県議会議員、藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

(4) 日本共産党国会議員の被災地調査

内 容 大震災 10 年を前に、被災地・陸前高田市の現状と課題、国への要望  
について高橋千鶴子衆院議員が来市し、調査と懇談を行った。

日 時 令和 2 年 1 月 4 日 (水) 午後 4 時 30 分～午後 5 時

場 所 市民文化会館会議室

出席者 戸羽市長

(調査団) 日本共産党高橋千鶴子衆院議員 (党衆院議員団長)、  
藤倉泰治、大坪涼子、伊勢 純

懇談の内容 復興の現状と課題、被災世帯医療費免除継続、原発汚染水海洋放  
出の影響 等

現地調査 東日本大震災津波伝承館の見学

(5) 戸羽市長と若手漁業者との懇談会

内 容 震災後に後を継ぎ、Uターンや移住によって養殖漁業で活躍している  
脇の沢地区の若手漁業者と懇談し、課題や要望、今後の展望について話  
し合った。

日 時 令和 2 年 1 月 9 日 (月) 午後 3 時～午後 4 時

場 所 脇之沢漁港・共同作業場

懇談の内容 新規参入の場合の課題・改善点、養殖技術の向上改善、地元漁業  
者からの指導と技術習得と援助、空き漁場の活用、市の担い手対策  
の活用状況など

出席者 戸羽市長、藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純  
若手漁業者等 1 2 名

(6) 被災地の調査について日本共産党：志位委員長と戸羽市長とのオンライン会談

内 容 コロナ禍のもと、大震災 10 年を前に現地調査として、志位和夫委員  
長と戸羽太市長とのオンライン会談、戸羽市長と党県議団及び市議団の  
懇談

日 時 令和 3 年 2 月 9 日 (火) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分

場 所 市役所 4 号棟

会談の内容 復興状況や課題、要望を受ける／原発汚染水の海洋放出反対で一  
致／地方の公共交通での取り組みを紹介し国会でも全国の地方共  
通課題として対策を／心のケア・地域コミュニティ／マスコミの  
「巨額の投資」「広大な空き地」などの論評に「当時、国の事業に

は地権者の同意や減歩を伴う区画整理事業しかなかった。修正できない仕組み。当時大事だったのはスピード感。国の権限を地方の現場に下ろす必要を感じた」、その上で、「あの時、まちづくりの原点は、どうやったら人の命を守れるまちをつくるかだった」と語り、「二度と同じ間違いを繰り返さないこと。その思いを後世に伝えていくことが私たちの大事なこと」と戸羽市長が強調された。

志位委員長は、「将来を見据えた情熱的な取り組みに敬意を表します。現在と将来に責任を負うまちづくりのため力をあわせていきたい」と応じた。

戸羽市長と党県議団及び市議団との意見交換と懇談も行われた。  
(午後4時～4時30分)

## 2 研修事業

### (1) 大震災被災自治体の復興財政について井上先生の講義

内 容 岩手大学名誉教授井上博夫先生から、復興事業の財政と被災自治体の財政について講義を受け研修した。

日 時 令和2年7月17日(金) 午後5時～午後6時30分

場 所 盛岡市 アイーナ研修室

研修内容 国の復興事業及び復興財源の仕組みと活用状況と課題・問題点、本市をはじめ被災市町村の財政の推移、現状を学んだ。

本市の財政状況は、市債残高が減少傾向、財調基金の増や、復興財源の有効活用等について認識をした。

今後の課題として、人口減や高齢化の問題もあるが、地域資源を生かした特色あるまちづくり、個性あるまちづくりが大事ということを再認識した。

講 師 井上博夫先生(岩手大名誉教授、グローバルキャンパス所長)

受講者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純、滝田松男大船渡市議会議員、山本和義大船渡市議会議員、佐々木春一住田町議会議員

### (2) 2020岩手県地方自治研究集会

内 容 「いのちとくらし 今こそいかそう 憲法と地方自治」を集会テーマに開かれた2020岩手県地方自治研究集会に参加し研修した。

日 時 令和2年7月18日(土) 午前10時～午後4時

場 所 県公会堂、水産会館、プラザおでって

主 催 2020岩手県地方自治研究集会実行委員会

研修内容

記念講演 「光り輝く三陸を目指して ～台風被害を乗り越えて～」

講 師 中村一郎氏(三陸鉄道株式会社 代表取締役社長)

分科会参加 「住民が主人公の災害に強いまちづくり」分科会に大坪涼子議員が参加した。

「全世代型の社会保障を考える ～行政の役割は～」分科会には伊勢純議員が参加した。

「行政の委託化と憲法を生かす自治」分科会には藤倉泰治議員が参加した。

参加者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

(3) 図書館事業研修事業

内 容 富士大学：早川光彦教授から図書館についての研修を受けた。

日 時 令和2年10月28日（水）午後2時～午後3時30分

場 所 富士大学研修室

研修内容 図書館の役割、事業及び運営について基本的なことについてレクチャーを受けた。

講 師 早川光彦先生（富士大学教授）専門：図書館学

※陸前高田市立図書館建設にも専門委員として参加

参加者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純、滝田松男大船渡市議会議員、山本和義大船渡市議会議員、佐々木春一住田町議会議員

3 要請・陳情活動

(1) 日本共産党気仙地区議員団の気仙2市1町首長への申し入れ活動

内 容 新型コロナウイルス感染症対策について、戸羽太陸前高田市市長、戸田公明大船渡市長、神田謙一住田町長に申し入れ書を提出し、懇談を行った。

日 時 第1次 令和2年5月21日（木）午後1時30分～午後5時

第2次 令和2年8月24日（月）午前9時～午後5時

場 所 住田町役場、陸前高田市役所、大船渡市役所

参加者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純、滝田松男大船渡市議会議員、山本和義大船渡市議会議員、佐々木春一住田町議会議員

(2) 被災医療費免除継続を求める署名簿の提出

内 容 被災世帯の医療費免除について、令和3年も継続実施を求めて集められた1,113筆の市民署名を住民団体とともに提出し、市長に強く要望した。

日 時 令和2年10月27日（火）午後3時30分

場 所 市役所市長室

要望内容 これまで10年間継続してきた被災者の医療費免除について10年目となる令和3年も継続することを要望。

参加者 「継続を求める女性の会」の代表、大坪涼子、藤倉泰治

3 広報事業

(1) 議会報告の広報紙の発行

内 容 日本共産党発行の「陸前たかた民報」の中に定例会等の議会報告を特集して掲載し、各戸に配布した。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、市民・事業者の意見要望の把握と、支援策や検査体制について提案や紹介が多く掲載された。

発行回数 3議員それぞれ年4回発行した。